

# 豊潤の里 だより

## 旧クリーンセンター跡地再開発についての 要望書提出に向けて

～ もう産業廃棄物はいらない！ 未来への種まきを!! ～

赤崎地区のほぼ南端に安芸津クリーンセンターがありました。当クリーンセンターは、竹原市・安芸津町のし尿を集めて処理する施設として、第 1 期平成元年(1989)にオープンしました。それから平成10年(1998)に施設を増設し、令和 3 年(2021)の閉鎖まで稼働してきました。その年数は33年間にも及びます。

しかしながら、赤崎地区でのし尿処理の歴史はさらに古いもので、昭45年(1970)に安芸津町がし尿処理施設を建設したのが始まりでした。当時のし尿処理は現在の方法とは異なり、いつも周囲に悪臭が漂っていたそうです。安芸津町時代と合わせると、実に51年間もの長きにわたって、赤崎地区にし尿処理施設があったことになります。

近くの住民の方は、「風向きによっては悪臭が家の中にも漂い、食事も喉を通らないし、農作業を行っているときも、早くその場から離れたい気持ちになりました」と話されていました。約30年前に設備増設工事を行った後は、臭いは徐々に弱くなり、近年ではほとんど臭いが無くなりましたとのこと。その人は最後に、「今後この跡地を市民のために有効活用してもらいたい」と、強く訴えておられました。

市町の片隅で住民の生活を長年支え続けてきた「無くてはならない施設」としてのクリーンセンター。赤崎地区の住民の皆さんの「寛容な地域性」なくしては存在しませんでした。その思いを決して忘れてはなりません。いやその地域の思いこそ、クリーンセンター跡地再開発を通して次世代につなげていくことが大切です。



そこで木谷自治協議会は東広島市に「要望書」を提出しようと考えております。すぐに市が何か動き出すことは考えられませんが、木谷地域は「旧クリーンセンター跡地再開発」への強い思いがあることを市に訴え続けていきたいと思っております。

# 「昔の遊び」で子どもたちと交流 (1/23)

中高齢者にとっては懐かしい、児童にとってはほぼ未経験の「昔の遊び」。この遊びをとおりて地域の人たちと子どもたちが交流する「ものづくりふれあい集会」が木谷小学校で開かれました。地域の人たちに教わりながら、1・2年生はけん玉、羽根つき、おじゃみ、コマ回しなど、3年生以上は竹で遊び道具を自作しました。それを使って遊ぶことで昔の子どもたちの遊びを体験しました。



(1・2年生) けん玉



(1・2年生) 羽根つき



(1・2年生) お手玉



(3年生) 紙玉鉄砲づくり



(4年生) 竹とんぼづくり

(5年生) 凧づくり

思い思いに絵を描いた長方形の障子紙に、竹ひごを組み合わせ貼り付けて作る和凧。左右のバランスがよくとれている凧は校庭に吹く強い風を受けて高く揚がっていました。



(6年生) 風車づくり

竹ひごを曲げて作る風車。最も難しいのが羽根の完成直前段階。指導する地域の人たちから丁寧に教えてもらい、くるくるよく回る風車ができました。

## その時に備えて自主防災訓練 (2/15)



消防署による防災授業を受ける児童と住民

「自分の命は自分で守る」をテーマに防災授業、避難訓練、初期消火訓練、放水訓練が実施されました。南海トラフ地震発生に伴う津波警報発令を想定した避難訓練には293名が参加し、指定された避難場所に集合しました。そのうち小学生たちは5分余りで安全な高台に避難しました。

＜主催：木谷自治協議会・防災安全部＞



避難所になった重松神社の境内に集まった人々



消防団員などと友国の高台に避難した児童たち



「ピン・ポン・パン」で放水し、見事に消火！



児童たちも消防ホースによる消火を体験。重い！

地域センター  
主催講座

## 冬の海で生き物かんさつ会 (2/19)



「ブチ大きいカニがおった!!」。子どもたちの歓声の中、15時半から1時間半「冬の生き物かんさつ会」を開催しました。大塚先生(広島大)に講師をお願いし、元気な木谷っ子15名に海の生き物の魅力を教えて頂きました。その中で大型のカニで地域の呼び名「ガゾウ」(モクズガニ)の雄雌の見分け方も教えてもらい、子どもたちは感心していました。身近な場所に、魅力的な自然がたくさんあることを再発見したことでしょう。

## 世代をつなぐ伝統行事 神明まつり

江戸時代の比較的早い時期には行われていたとされる小正月の火祭り「神明さん」。子ども会や地域団体などの関係者が力を合わせて組み立て、1月25日に赤崎地区で、2月8日に西之谷地区と郷地区で燃やされました。2月8日は強風のためやぐらを倒して点火しました。



赤崎地区の神明さん



西之谷地区の神明さん



郷地区の神明さん(強風対策でやぐらを倒して点火。燃え尽きたころから降雪により雪景色に)

## 福祉生活部会

## 部会活動紹介



3/20 見守りを兼ねて「友愛訪問」

春分の日、区長さんがお菓子を持ち、満年齢77歳以上の高齢者宅を訪問しました。これは木谷自治協と地区社協蛟龍と区長が連携した、敬老と見守りを兼ねた活動です。300名が対象でフレイル予防の啓発チラシも同封されました。

＜木谷自治協・木谷地区社協 蛟龍・区長＞

| 木谷の人口（住民基本台帳）     | 世帯数 | 人口   | 男   | 女   |
|-------------------|-----|------|-----|-----|
| 令和8年(2026)2月末現在   | 657 | 1366 | 665 | 701 |
| 令和7年(2025)2月末との比較 | +1  | -11  | -5  | -6  |